

## 春を待ちわびて

ビルの谷間抜ける風が突き刺さる  
空はどこまでも薄い色で

雪さえもない冷たさだけが  
じんわりと体温奪ってゆく

凍りつく朝の光の底から  
ひとひらの温もりそっと探す

乾いたアスファルト  
街路樹の影を  
細く長く描く黒い色で

人の流れに紛れてみても  
誰の温もりも届かない

信号の光が無機質に輝く  
都会の冬の中  
目立つ色で

凍りつく朝の光の底から  
ひとひらの温もりそっと探す

ビルの谷間抜ける風が突き刺さる  
空はどこまでも薄い色で